

2008年2月21日

株式会社日本医療データセンター

報道関係各位

日本医療データセンター 『JMDC データで読むヘルスケアレポート』 vol. 3

「狭心症」「心筋梗塞」は 3大生活習慣病から  
4人に1人が虚血性心疾患を併発 糖尿病・高血圧症・高脂血症と密接な関係

医療データベースの構築・分析及び健康保険組合へのソリューション提供を行う、株式会社日本医療データセンター(東京都千代田区、代表取締役:木村 真也)は、生活習慣病の代表である糖尿病、高血圧症、高脂血症の3つの疾患に罹患している人は、「虚血性心疾患\*」の発症率が高く、放置状態で病院受診した場合は、4人に1人が虚血性心疾患を併発してしまうことを発表しました。

\*虚血性心疾患は冠動脈疾患とも呼ばれ、「狭心症」や「心筋梗塞」のように、冠動脈の閉塞や狭窄を原因として、心筋への血流が阻害されるために心臓に障害が起こる疾患の総称です。

この結果は、日本医療データセンターが契約する健康保険組合のレセプトデータから、30~59歳の糖尿病・高血圧症・高脂血症のいずれかの診断を受けた患者23,886人を抽出し、これら3つの病気のパターン別に虚血性心疾患の発症率を解析した結果、判明したものです。発症率が最も高かった組み合わせは、「糖尿病・高血圧症・高脂血症」の3つを併発している場合で、その割合は11.8%、次いで「高血圧症と高脂血症(10.6%)」、「高血圧症と糖尿病(9.9%)」の順となっており、高血圧症が深く関係している傾向を示しています。さらに、上記のパターンに加えて各々の病気の診断時期(診療開始時期)を考慮し解析したところ、定期的に病院で受診しながらも徐々に3大生活習慣病を併発していった場合は虚血性心疾患の発症率は7.0%でした。これに対し、病院受診時に3疾患を同時に診断された場合では、25.3%(約4人に1人)が虚血性心疾患を発症しており、心疾患と診断されるまでの平均期間はわずか半年だったことが明らかになりました。

| 病気のパターン       | 発症率(パターン別患者数に対する虚血性心疾患患者数) |
|---------------|----------------------------|
| 糖尿病・高血圧症・高脂血症 | 11.8%(1,734人中205人)         |
| 高血圧症・高脂血症     | 10.6%(3,065人中326人)         |
| 糖尿病・高血圧症      | 9.9%(1,278人中126人)          |
| 高血圧症          | 8.6%(6,342人中543人)          |
| 糖尿病・高脂血症      | 6.3%(2,052人中130人)          |
| 高脂血症          | 4.1%(6,464人中266人)          |
| 糖尿病           | 4.0%(2,951人中119人)          |

※分析期間: 2006年4月~2007年3月

※対象: 30~59歳の糖尿病・高血圧症・高脂血症患者23,886人

この分析から、北里大学医学部 佐藤敏彦准教授(公衆衛生学)は、以下のようにコメントしています。

「いずれも生活習慣の乱れが深く関与する糖尿病・高血圧症・高脂血症は、ひとつ罹患してしまうと連鎖的に併病が起こりがちです。これらはまた、健康診断の血液検査の結果で、要治療といわれても、自覚症状がほとんどないため、放置状態にしてしまう人も多いようです。今回の解析結果からもわかるように、治療を先延ばしにするほどメタボリックシンドロームとして互いに悪影響を及ぼしあい、重症化するリスクが高まります。検査で基準値を一つでも超えてしまった人は、日ごろの食生活を見直すなど早めの対策が必要です。」

#### ■ 本件に関する問い合わせ先

株式会社日本医療データセンター ヘルスケア事業部 担当 小沼・岸村

メールアドレス: [FAQ@jmdc.co.jp](mailto:FAQ@jmdc.co.jp) (TEL): 03-3511-6781 (FAX): 03-3511-6782

---

#### ■ 関連情報

メタボリックシンドローム対策レシピ「Pep! eco-recipe (エコレシピ) vol.9」に詳しい情報が掲載されています。

エコレシピの詳細はこちら: <http://www.jmdc.co.jp/eco-recipe>

#### ◇ JMDC データで読むヘルスケアレポートとは

株式会社日本医療データセンターが、月 1 回発表するレポートで、同社独自の技術を用いた JMDC データ\*\*を利用して、リアルな患者のデータから、日本人の健康や疾病の傾向を分析するものです。

\*\*JMDC データ: 株式会社日本医療データセンターが約 33 万人(2007 年 11 月現在)の健康保険組合加入者から収集した健康診断の情報やレセプト情報を解析したデータ。個人を特定しないよう加工され、時系列での処理が可能のため、治療の経過などを疫学的に検証することが可能。

#### ◇ 日本医療データセンター (<http://www.jmdc.co.jp/>)

レセプト(診療報酬明細請求書)には、豊富な医療情報が含まれているにもかかわらず、今までは個人情報の問題や、医療機関ごとに異なる用語やフォーマットなどにより、データとして利用することが大変難しい状況でした。2008 年 4 月には、医療制度改革に伴う健康保険法改正により、国内全ての健康保険組合に「医療費削減」を目的とした「組合員の健康増進等」が義務づけられます。

このような背景のなか、国や健康保険組合の施策に対し、改善に繋げるための「検証」というプロセスの必要性から、株式会社日本医療データセンターでは新たなメタボリックシンドローム対策のソリューションを開発。医療機関が健康保険組合に医療費請求時に使用するレセプトから、個人を特定しない医療データ生成・分析を行うことができる、日本初の会社として、健康保険組合および製薬会社などにデータ活用ソリューションを提供しています。